

# 事後評価アンケート結果

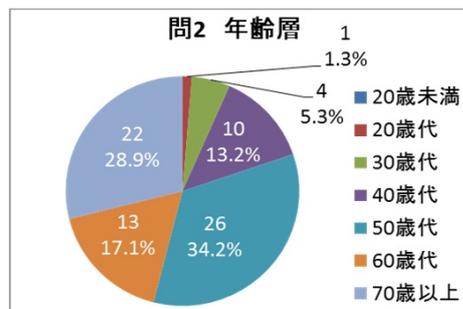
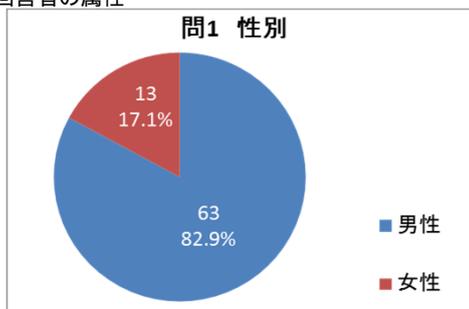
整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

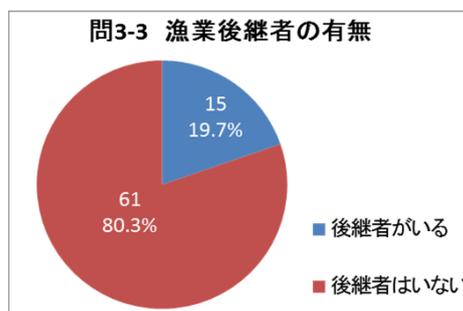
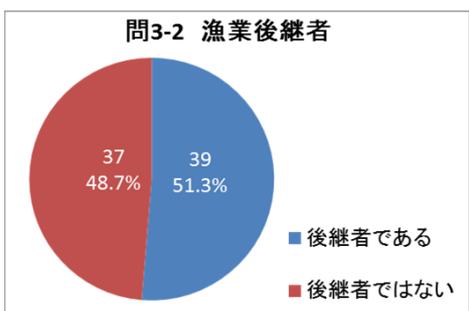
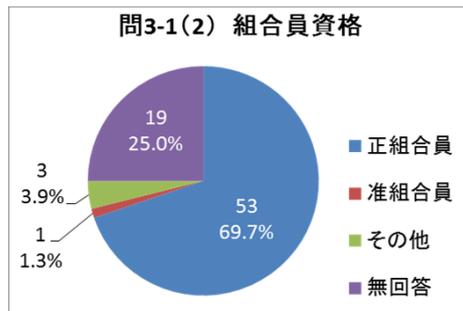
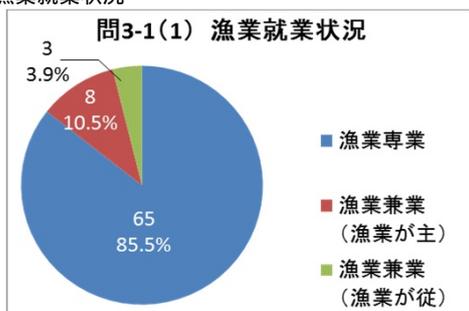
アンケート対象	野辺地漁港の主な利用者である野辺地町漁業協同組合の組合員(正組合員82人+准組合員45人=計127人)を対象とし、アンケート調査を実施した。		
配布方法	野辺地町漁業協同組合を通じて、全員に直接配布	(配布部数)	127 部
回収方法	野辺地町漁業協同組合に直接提出のうえ、後日回収	(回収部数)	76 部
回収率	59.8%(76/127)		
アンケート結果			

本アンケートは、漁港や漁場整備の効果を直接把握するため、調査対象を漁業者に限定し実施している。また、達成度の項目では、施設別の整備目的に対する達成度を検証している。  
一方、「アンケート対象事業全般に対する意見」及び「公共事業全般に対する意見」については、本アンケート前に地域住民も対象としたプレアンケートを実施しており、その回答も反映している。

## 1. 回答者の属性



## 2. 漁業就業状況



# 事後評価アンケート結果

整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

**アンケート結果**

2. 漁業就業状況(つづき)

**問3-4 営んでいる漁業種類**

種類	件数	割合
ホタテ貝養殖業	55	55.6%
小型底びき網	18	18.2%
刺し網	15	15.2%
かご漁業	5	5.1%
ほや類養殖	2	2.0%
小型定置網	1	1.0%
その他	3	3.0%

複数回答可

**問4 お住まい**

地域	件数	割合
字大月平	23	30.4%
字田名部道	14	18.4%
字米内沢	12	15.8%
字浜掛	9	11.8%
字野辺地	9	11.8%
字馬門道	8	10.5%
その他	1	1.3%

3. 漁港整備事業について

**問5 認知度**

認知度	件数	割合
事業が行われたことを知っている	59	77.6%
事業は知らないが、場所なら知っている(行ったことがある)	11	14.5%
事業も、場所も知らない(行ったことがない)	6	7.9%
無回答	1	1.3%

**問6【利用回数】**  
事業で整備した施設の利用回数は、どれくらいですか。(利用目的をお聞かせください)

**問6 利用回数**

回数	件数	割合
ほとんど毎日	35	46.1%
週に2~3回	19	25.0%
月に2~3回	14	18.4%
年に数回	3	3.9%
利用したことがない	3	3.9%
無回答	2	2.6%

**問6-2 利用目的**

目的	件数	割合
漁業活動	53	56.4%
散策	16	17.0%
休憩	11	11.7%
祭り・イベント	9	9.6%
その他	4	4.3%
無回答	1	1.1%

複数回答可

**問7【必要度】**  
地域の基幹産業である漁業にとって、この野辺地漁港や漁場の整備が必要であったと思いますか。

**問7 必要度**

必要度	件数	割合
必要であった	56	73.7%
おおむね必要であった	14	18.4%
どちらとも言えない(わからない)	6	7.9%
あまり必要ではなかった	0	0%
必要ではなかった	0	0%

必要であった理由

- ・物揚場、道路整備により、利便性が向上した。
- ・県内外から人が来ても、整備がされているので、見た目が大変良くなった。

# 事後評価アンケート結果

整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

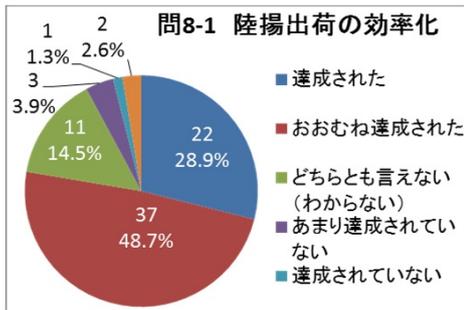
## アンケート結果

### 3.漁港整備事業について (つづき)

#### 問8【達成度】

物揚場や用地などが整備された結果を見て、下記(1)～(4)の4つの事業目的が達成されたと思いますか。

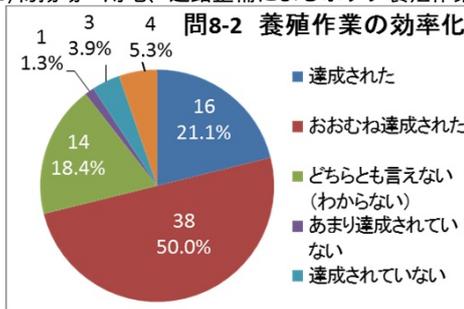
(1)物揚場整備による陸揚げ、出荷・運搬作業の効率化



達成された理由

- ・ 小型船は、便利になった。
- ・ 利便性の向上を実感した。
- ・ 出荷がスムーズになった。

(2)物揚場・用地、道路整備によるホタテ養殖作業の効率化



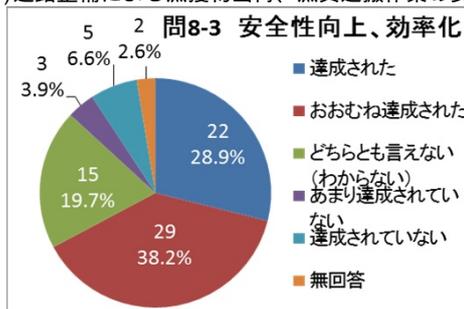
達成された理由

- ・ 古い施設で危険な所があった。

達成されていない理由

- ・ 一般車両による設備の損壊が多い。

(3)道路整備による漁獲物出荷、漁具運搬作業の安全性向上、効率化



達成された理由

- ・ 交通量が多く大変危険だった。(3件)

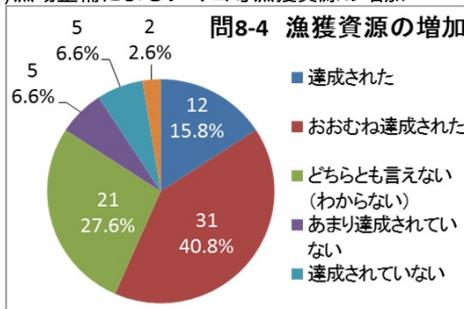
どちらとも言えない理由

- ・ スピードの出し過ぎでマナーが悪い。

達成されていない理由

- ・ 年配者の道路の横断が危険。(2件)

(4)漁場整備によるナマコ等漁獲資源の増加



達成された理由

- ・ 稚ナマコが増えた。(2件)

どちらとも言えない理由

- ・ 始まったばかりで結果がまだ。(2件)

# 事後評価アンケート結果

整理番号	H25 - 2
------	---------

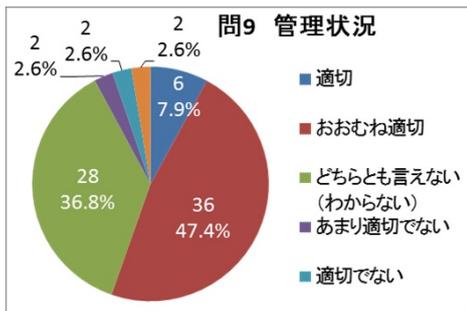
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

## アンケート結果

### 3.漁港整備事業について (つづき)

#### 問9【管理状況】

この事業で整備した防波堤や物揚場などの漁港施設、増殖場は青森県が管理（漁港の清掃、監視など）しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。

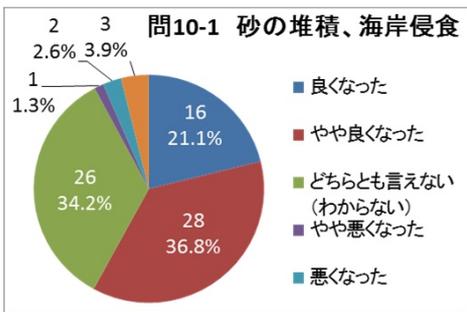


どちらとも言えない理由  
・ いったいどのような形で管理が行われているか知らない。

#### 問10【環境変化】

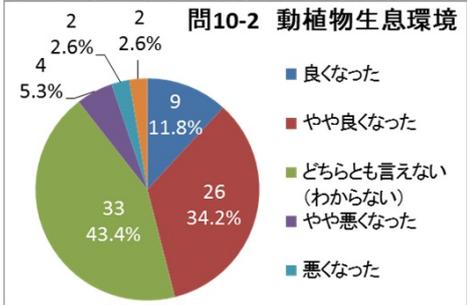
事業の実施により、下記の自然環境(1)～(3)、生活環境(4)～(6)、歴史的・文化的環境(7)の状況は事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。

(1)自然環境 「周辺海岸の状況（砂の堆積、海岸侵食）」



どちらとも言えない理由  
・ 整備による変化よりは、異常気象(水温など)により変わったのではないかと。

(2)自然環境 「魚介類や海藻類など動植物の生息環境」



どちらとも言えない理由  
・ 温暖化でウニなどの死亡が多い。

# 事後評価アンケート結果

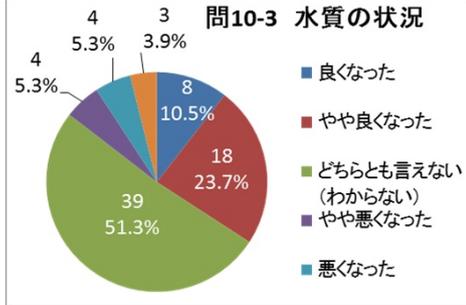
整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

## アンケート結果

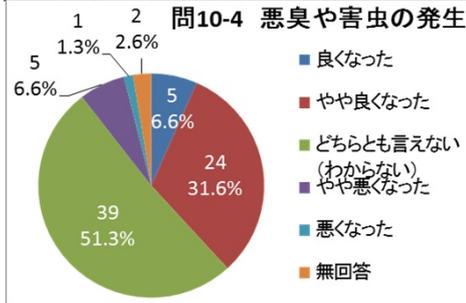
### 3.漁港整備事業について (つづき)

#### (3)自然環境 「漁港周辺の水質の状況」



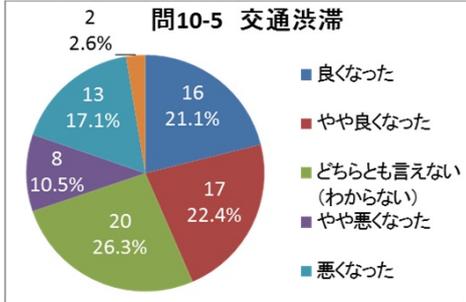
どちらとも言えない理由  
・町の側溝からの排水が多い。

#### (4)生活環境 「悪臭や害虫の発生」



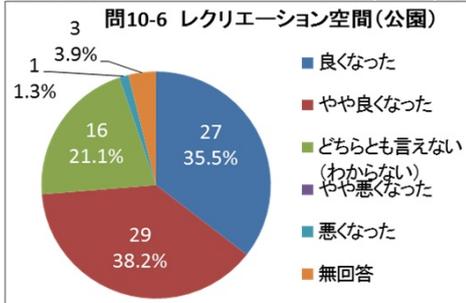
良くなった理由  
・漁具が片づけ易くなった。

#### (5)生活環境 「交通渋滞」



良くなった理由  
・渋滞がなくなり、効果は大きいと感じる。  
どちらとも言えない理由  
・道路横断時、車が多く危険。  
悪くなった理由  
・大型車の通行が多い。  
・スピードの出し過ぎ。

#### (6)生活環境 「レクリエーション空間(公園)」



良くなった理由  
・子供の遊び場になっているので、良いと思う。

# 事後評価アンケート結果

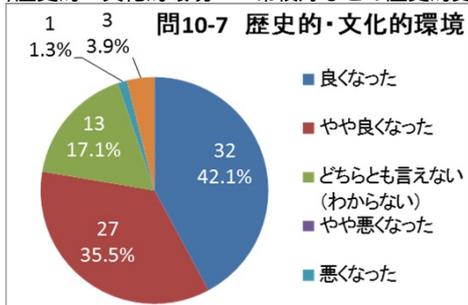
整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

## アンケート結果

### 3.漁港整備事業について (つづき)

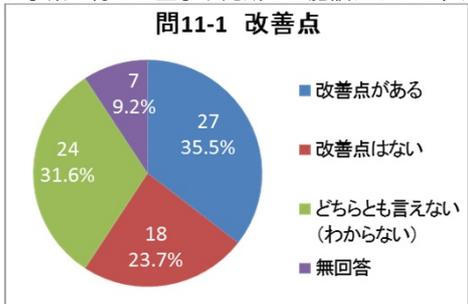
#### (7)歴史的・文化的環境 「常夜灯などの歴史的史跡、伝統的な町並みなど」



良くなった理由  
・常夜灯を見に来る観光客が増えたので、良いと思う。

#### 問11【改善点】

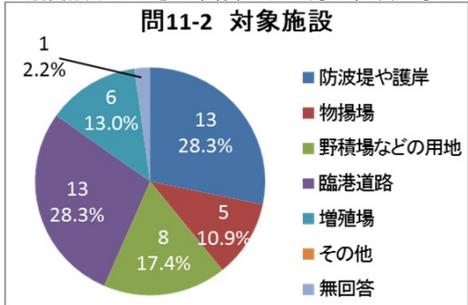
この事業で行った工事や完成した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか。



改善点がある理由  
・道路の通行

#### 問11【改善点】

「改善点がある」と回答された方は、次のうちのどの施設ですか。



改善点がある施設

防波堤・護岸	13 件
物揚場	5 件
野積場などの用地	8 件
臨港道路	13 件
増殖場	6 件

複数回答可

# 事後評価アンケート結果

整理番号	H25 - 2
------	---------

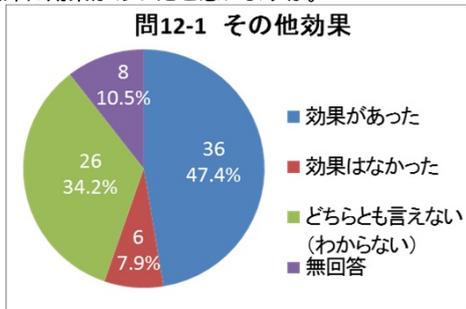
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

## アンケート結果

### 3.漁港整備事業について（つづき）

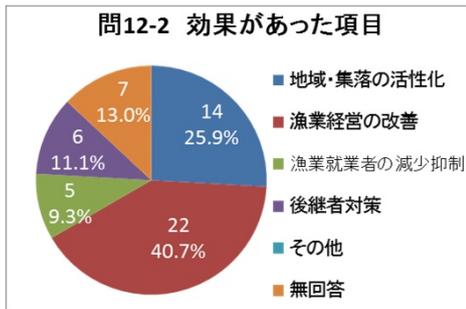
#### 問12【その他効果】

この事業を行ったことが地域活性化に結びついたなど、「問8」で示した4つの「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。



#### 問12【その他効果】

「効果があった」と回答された方は、つぎのうちどの項目に効果があったと思いますか。



効果があった項目	件数
地域集落の活性化	14 件
漁業経営の改善	22 件
漁業就業者の減少抑制	5 件
後継者対策	6 件

複数回答可

## 事後評価アンケート結果

		整理番号	H25 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区

### アンケート結果

#### 問13 [将来的な漁業の担い手に関するご意見]

将来の漁業の担い手の確保に対して、漁港、漁場整備を通じて必要と思われる対策等、ご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・ 魚礁の設置、藻場の保護等を目的とした漁業を行えば安定した漁獲が得られ、収入も安定して、次の担い手の魅力になる。
- ・ ホタテの価格の安定。(2件)

#### 問14 [その他意見(アンケート対象事業)]

アンケート対象事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- 1) 漁業者の意見
  - ・ 交通量の増加やスピードの出し過ぎにより、仕事の妨げになっている。(3件)
- 2) 一般住民の意見
  - ・ 地元の魚貝類を買う所という点で、道の駅(海の駅)のような所がほしい。(4件)
  - ・ 消費者、加工業者、スーパー等にもっと「ハサップ認定」をPRするべきと思う。

#### 問15 [その他意見(公共事業全般)]

アンケート対象事業に限らず、公共事業についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- 1) 漁業者の意見
  - ・ 公共事業は値段が高すぎると思う。
- 2) 一般住民の意見
  - ・ ハード面も大事だが、後継者が育つような活気ある漁業になってほしい。
  - ・ 建設後の維持管理経費がかかることになり、後世の負担を軽くすることもきわめて重要。

(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

野辺地漁港

空中写真による整備状況の推移



事業実施前 (平成12年6月撮影)



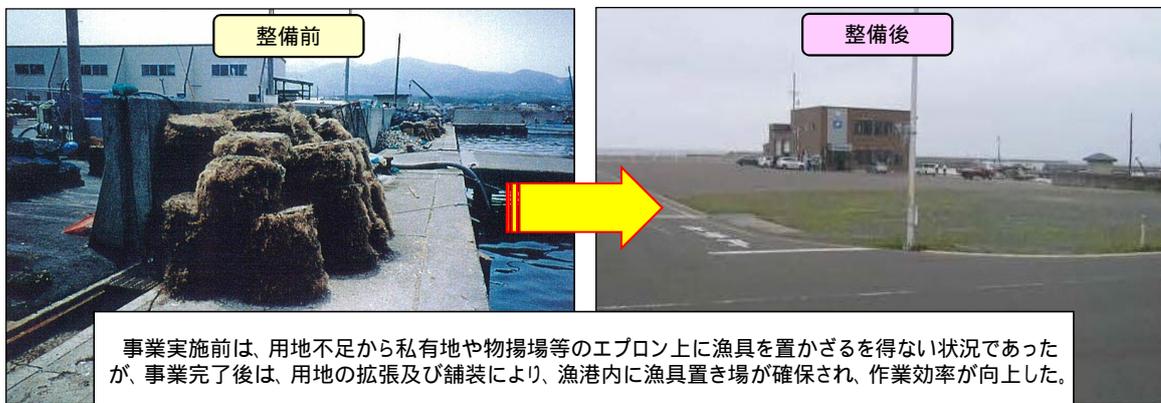
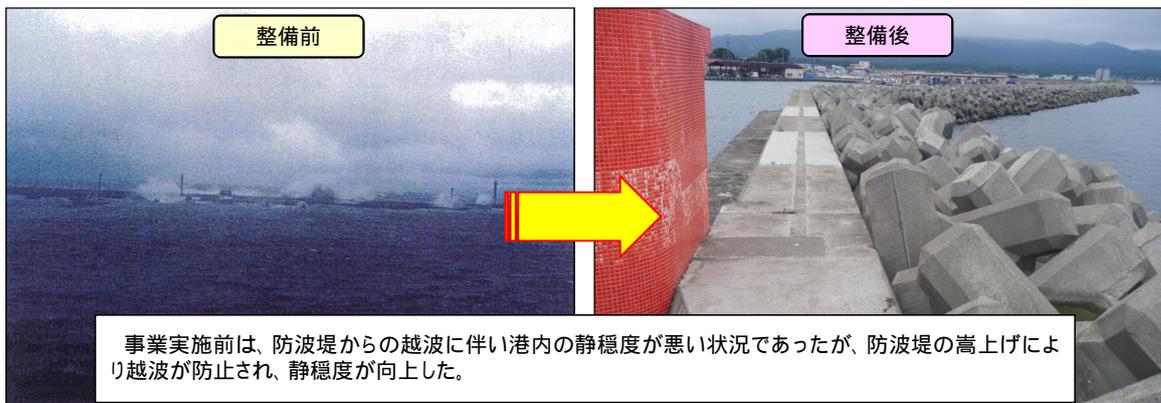
事業完了後 (平成23年11月撮影)

# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

野辺地漁港



# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H25 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区
-----	---------------	------	-------

## 野辺地漁港



常夜燈公園全景



水産物荷捌き所全景

本事業で整備した用地に、平成17～18年度にかけて「常夜燈公園」(事業主体:県)、平成21年度に水産物荷捌き所(事業主体:漁協)が建設されている。



常夜燈公園利用状況



常夜燈公園利用状況

本事業で整備した用地に、平成17～18年度にかけて「常夜燈公園」(事業主体:県)が整備され、平成19年度の供用開始以降、多くの地域住民に利用されている。



常夜燈みなと祭りでの水産物直販状況



常夜燈みなと祭りでの水産物直販状況

本事業で整備した用地を利用し、平成19年度から漁業協同組合主催の朝市が毎週土曜日に、また平成23年度からは町及び漁協等による祭り実行委員会主催の「常夜燈みなと祭り」が年に1度開催されており、多くの買い物客等で賑わいをみせている。

## 費用対効果分析説明資料

			整理番号	H25 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	野辺地地区	

## 【費用対効果の内容】

## 1. 費用対効果の算定根拠

算定の考え方は、『水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン・平成23年4月改定・水産庁漁港漁場整備部』(以下、「ガイドライン」という。)による。

費用対効果の算定には、整備に係る総費用及び維持管理費について現在価値化したものを費用(C)、野辺地漁港及び野辺地漁場の利用効果について貨幣化したものを(B)として評価するものである。

## 2. 算定の前提条件

(1) 評価基準年度:平成25年度

(2) 評価期間:事業期間+漁港施設:50年間、漁場施設:30年間(漁港漁場施設の耐用年数分)

(3) 費用及び便益の現在価値:投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。また、費用便益分析で扱う費用は、漁港デフレータ1を乗じて計上している。

1)漁港デフレータ(2012漁港漁場漁村ポケットブックより)

## 3. 総費用(C)の算定

(金額単位:千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値化	備考
事業費	972,000	1,503,106	事業期間:H13~H20
維持管理費	50,000	77,320	
合計	1,022,000	1,580,426	

## 4. 総便益(B)の算定

費用便益積上法によって、「水産物生産コストの削減効果」、「漁獲機会の増大効果」、「漁獲可能資源の維持培養効果」、「漁業就業者の労働環境改善効果」、「生活環境の改善」の各効果を計上している。積上法による計上にあたっては、地元漁業関係者等へのヒアリングにより便益の発現状況の確認、見直しが必要な便益、その他施設の供用により発現した効果を検討した。

(金額単位:千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値化	備考
水産物生産コストの削減効果	400,120	263,058	8,177 千円/年
漁獲機会の増大効果	754,500	496,044	15,090 千円/年
漁獲可能資源の維持培養効果	1,517,640	997,769	50,588 千円/年
漁業就業者の労働環境改善効果	1,260,950	829,008	25,219 千円/年
生活環境の改善効果	2,452,200	1,612,192	61,305 千円/年
合計	6,385,410	4,198,072	160,379 千円/年

## 【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益}) / C(\text{総費用}) = 4,198,072 \text{ (千円)} / 1,580,426 \text{ (千円)} = 2.66$$

